

安全データシート (SDS)

作成日：2023年3月13日

1. 化学品及び会社情報

製品名：バードクリンスプレー (420mL)

整理番号：24303 版数：01

供給者の会社名称：イカリ消毒株式会社
住所：東京都渋谷区千駄ヶ谷5丁目27番11号
担当部門：商品開発部
担当部門住所：千葉県習志野市茜浜1-13-4
電話番号：047-451-5160 FAX番号 047-451-0916
緊急連絡先：商品開発部 電話番号 047-451-5160
推奨用途及び使用上の制限：ハト忌避剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性：

引火性液体	分類できない
自然発火性液体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	区分に該当しない
金属腐食性化学品	分類できない

健康に対する有害性：

急性毒性（経口）	区分に該当しない
急性毒性（経皮）	区分に該当しない
急性毒性（吸入：気体）	分類できない
急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
急性毒性（吸入：粉じん・ミスト）	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	区分3
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分2A
呼吸器感作性又は皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	区分2
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分1（中枢神経系、全身毒性、呼吸器） 区分3（気道刺激性）
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分1（血管系、肝臓） 区分2（呼吸器、肝臓、脾臓、鼻腔）
誤えん有害性	分類できない

環境に対する有害性：

水生環境有害性 短期（急性）	区分3
水生環境有害性 長期（慢性）	区分4

上記で記載が無い危険有害性は、「分類対象外」もしくは「分類できない」

GHSラベル要素

絵表示又はシンボル：



注意喚起語：

危険

危険有害性情報： 軽度の皮膚刺激
 強い眼刺激
 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
 臓器の障害（中枢神経系、全身毒性、呼吸器）の障害
 呼吸器への刺激のおそれ
 長期又は反復ばく露による臓器（血液系、腎臓）の障害
 長期又は反復ばく露による臓器（呼吸器、肝臓、脾臓、鼻腔）の障害のおそれ
 水生生物に有害
 長期的影響により水生生物に有害のおそれ

注意書き：

- 【安全対策】 すべての安全注意を読んでから取り扱うこと。
 取扱後は手を良く洗うこと。
- 【応急措置】 飲み込んだ場合、直ちに医師の診断を受ける。
- 【保管（貯蔵）】 一定の場所を定め容器を密閉して涼しいところ、換気の良い所で保管すること。
- 【廃棄】 廃液、汚泥等は関係法令に基づき、自社で適正に処理するか、又は廃棄物処理業者に委託して処理すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別： 混合物

化学名又は一般名：

成分名	CAS No.	含有量
香料	—	非公開
イソプロピルアルコール	67-63-0	40～50%

他の成分：界面活性剤・水

4. 応急処置

- 吸入した場合： 被害者を直ちに新鮮な空気のある場所に移し、安静を保ち医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合： 汚染された衣服、靴等を速やかに脱がせ、接触部分を多量の水で十分に洗浄し、速やかに医師の診断を受ける。
- 眼に入った場合： 直ちに清浄な流水で15分間洗浄し、速やかに眼科医の手当を受ける。
- 飲み込んだ場合： 口の中を漱ぎ、コップ1～2杯の水、牛乳を飲ませ、速やかに医師の診断を受ける。無理に吐かせない。（腐食性液体のため吐き出させると返って危険性が増す）

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤： 二酸化炭素、粉末消火剤、散水、噴霧水、耐アルコール性泡消火剤
- 使ってはならない消火剤： 情報なし
- 特有の消火方法： 消火活動は、風上より行い燃焼ガスの吸入を防止すると共に保護具を着用して行う。移動可能な容器は速やかに安全な場所に移す。火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火の為に放水などにより、環境に影響を及ぼす物質が流出しないように適切に処理する。
- 消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置： 消火時には、燃焼又は高温により有毒ガス（一酸化炭素等）が発生することがあるので呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置： ・作業の際には適切な保護具（手袋、保護マスク、エプロン、ゴーグル等）を着用する。
 ・風下の人を避難させ、漏出場所から人を遠ざける。

- 環境に対する注意事項：
 ・公共の水路、水源等に流出しないように注意する。
 ・屋内の場合は処理が終わるまで十分に換気を行う。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材：
 ・少量の場合は、おが屑、ウエス等に吸収させ回収する。ウエスは焼却する。大量の場合は、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いて回収作業を行う。保護具を着用して回収する。又、多量の場合は風下の人を避難させ、周囲にロープを張り、関係者以外は、立入を禁止する。
- 二次災害の防止措置：
 ・飛散した場所の周囲にはロープを張るなどして人の立ち入りを禁止する。
 ・付近の着火源、高温体及び可燃物をすばやく取り除く。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い：
 ・通常の取り扱いであれば特に問題はない。
 ・眼に直接入らないようにする。
- 保管：
 ・密封容器に入れ、火気を避け直射日光の当たらない冷涼な場所に保管する。酸化性物質を避けて貯蔵する。

8. ばく露防止及び保護措置

- 許容濃度： データなし
- 設備対策： 取り扱い場所は給排気が充分にとれる場所・設備とすること。
- 保護具： マスク・ゴム手袋・保護めがねの着用その他作業の状況に応じて、防塵マスク又は防毒マスク(有機ガス用)、蒸気濃度が高い場所は、送気マスク、ゴーグル、長靴、前掛け等の中から適した物を使用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態（外観や形状など）	液体
色	透明
臭い	あり
沸点又は初留点及び沸点範囲	情報なし
可燃性	情報なし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	情報なし
引火点	情報なし
自然発火点	情報なし
分解温度	情報なし
pH	5.4～7.53
動粘性率	情報なし
蒸気圧	情報なし
密度及び／又は相対密度	0.90～0.91 g/m ³
相対ガス密度	情報なし
粒子特性	情報なし

10. 安定性及び反応性

反応性：	情報なし
化学的安定性：	常温においては安定
危険有害反応可能性：	強酸化剤と反応し火災や爆発の危険性をもたらす
避けるべき条件：	高温
混触危険物質：	強酸化剤、強アルカリ
危険有害な分解生成物：	火災時の燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素などの有害ガスが発生する

11. 有害性情報

急性毒性（経口）	ラット LD ₅₀ >5,000 mg/kg （組成からの推定値）
急性毒性（経皮）	ウサギ LD ₅₀ >5,000 mg/kg （組成からの推定値）
急性毒性（吸入：気体）	情報が無く分類できない
急性毒性（吸入：蒸気）	情報が無く分類できない

急性毒性（吸入：粉じん・ミスト） 皮膚腐食性/刺激性	情報が無く分類できない 区分 2A に該当する物質を 10%未満 1%以上かつ、区分 3 に該当する物質を 10%以上含有するため区分 3 とした。
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 呼吸器感受性又は皮膚感受性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性	区分 2A に該当する物質を 3%以上含有するため区分 2A とした。 情報が無く分類できない 情報が無く分類できない 情報が無く分類できない 区分 2 に該当する物質を 3%以上含有するため区分 2 とした。
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	区分 1(中枢神経系、全身毒性、呼吸器)に該当する物質を 1%以上含有するため区分 1 とした。 区分 3(気道刺激性)に該当する物質を 20%以上含有するため区分 3 とした。
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 1(血液系、腎臓) に該当する物質を 1%以上含有するため区分 1 とした。 区分 2(呼吸器、肝臓、脾臓、鼻腔) に該当する物質を 1%以上含有するため区分 2 とした。
誤えん有害性	情報が無く分類できない

12. 環境影響情報

生態毒性（急性）	魚類（ヒメダカ）96 時間 LC ₅₀ 80mg/L （組成からの推定値）
生態毒性（慢性）	区分 3 に該当する物質を 25%未満含有するため区分 4 とした。
残留性・分解性	情報なし
生体蓄積性	情報なし
土壌中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄の時には、水質汚濁防止法、下水道法及び大気汚染防止法等を遵守すること。 外部処理の場合は、専門業者に委託する。
-------	--

14. 輸送上の注意

国内規制	陸上運送	消防法、労働安全衛生法等に定められている運送方法に従う。
	海上運送	船舶安全法に定められている運送方法に従う。
	航空運送	航空法に定められている運送方法に従う。
国際規制	航空輸送は IATA 及び海上輸送は IMDG の規則に従う。	
	国連番号	知見なし
	品名	知見なし
	国連分類	知見なし
	容器等級	知見なし
	海洋汚染物質	知見なし
輸送の特定安全対策及び条件	容器の破損、腐食、漏洩等、異常がないことを確認して積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。 食料や飼料と一緒に輸送してはならない。 重量物を上乗せしない。 輸送車両、船舶に備えるべき防災基剤のほか防毒マスク等の保護具、災害防止薬剤を積載すると共に表示、警戒票等を点検、確認する。	

15. 適用法令

消防法	該当しない
安衛法	名称等を通知すべき有害物(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9) イソプロピルアルコール 危険物・引火性の物(施行令別表第 1 第 4 号) イソプロピルアルコール 第 2 種有機溶剤等(施行令別表第 6 の 2・有機溶剤中毒予防規則第 1 条第 1 項第 4 号)

		イソプロピルアルコール
毒劇法	該当しない	
船舶安全法	引火性液体類	イソプロピルアルコール
PRTR 法	該当しない	

16. その他の情報

参考文献 製造委託先 SDS バードクリンスプレー 2023 年 3 月 8 日

記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載事項は通常の見取りを対象としたものですので、特別な見取りをする場合には新たに用途・用法に適した安全対策の実施をお願い致します。

本品の使用の際には、ラベル等の記載をよく読み、十分理解した上で、使用方法及び用途を厳守して使用してください。

【改訂履歴】

2023 年 3 月 13 日 : SDS を新規作成 (JIS Z 7253:2019) 整理番号 : 2303、版数 01
